

5 エレクトリカル

5・1	ライティング	5-2
5・2	メーター	5-3
5・3	ビジュアル	5-4
5・4	オーディオ	5-23
5・5	クルーズコントロール	5-27

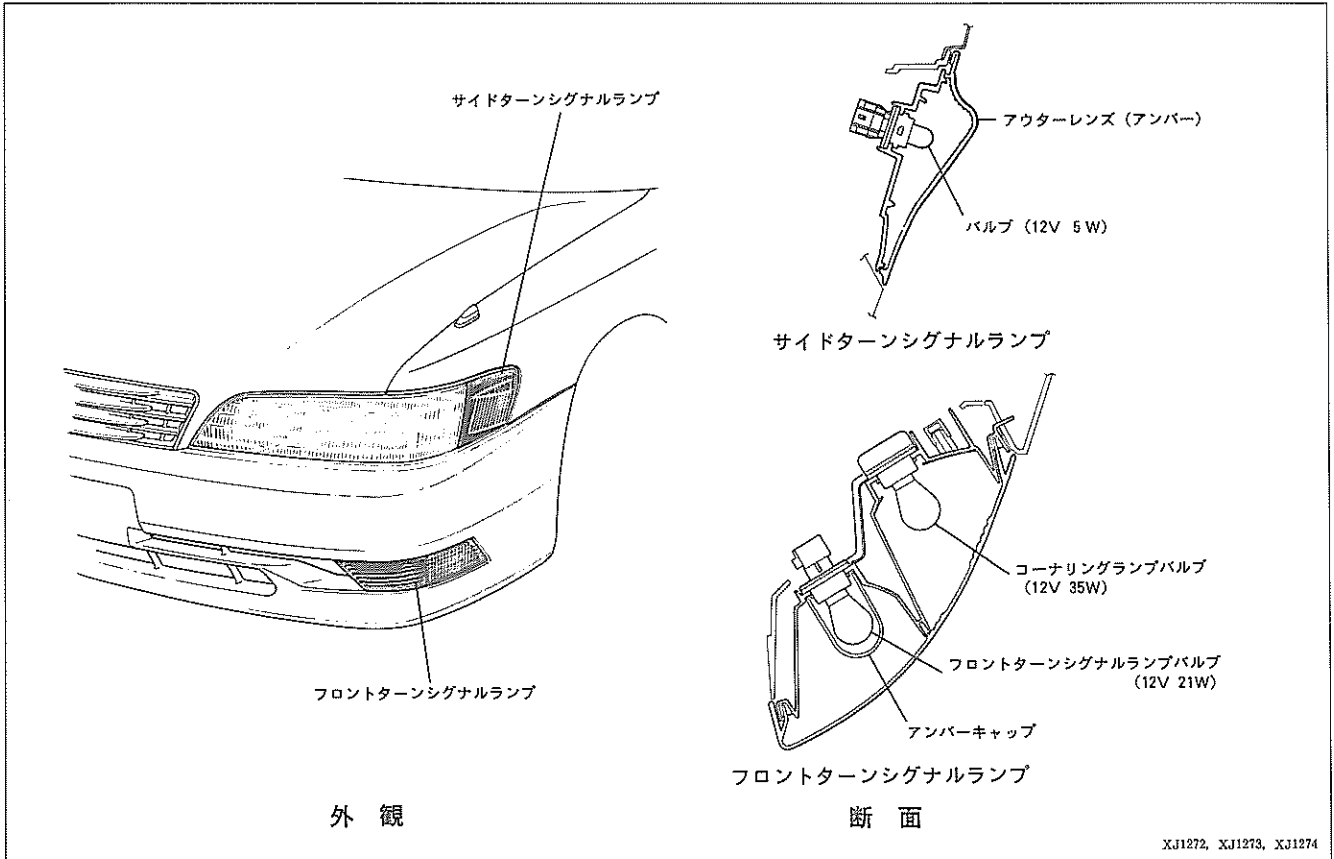
5・1

ライティング

■機構説明

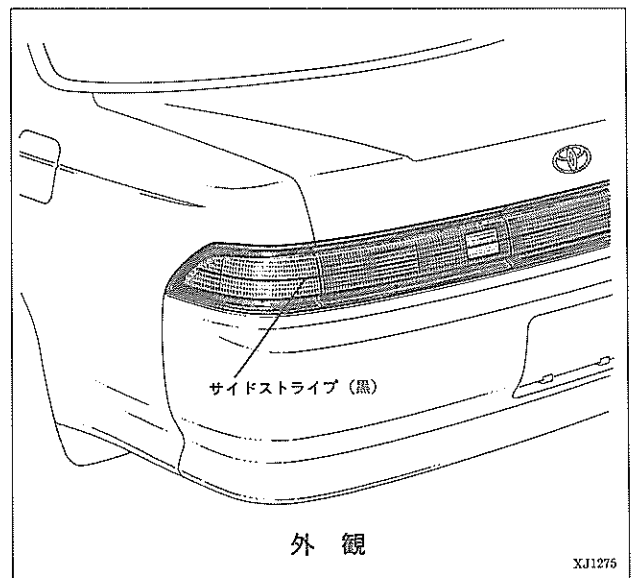
1. サイドターンシグナルランプ、フロントターンシグナルランプ

- サイドターンシグナルランプを、部分的にアンバー色にする従来のアンバーキャップ方式から、アウターレンズ全体をアンバー色にした意匠に変更し、見栄えの向上をはかりました。
- フロントターンシグナルランプを、従来の縦基調のレンズ意匠から横基調に変更し見栄えの向上をはかりました。



2. リヤコンビネーションランプ

- リヤコンビネーションランプ全体に、黒のサイドストライプを追加した意匠に変更を行い、見栄えの向上をはかりました。



5・2	メーター
-----	------

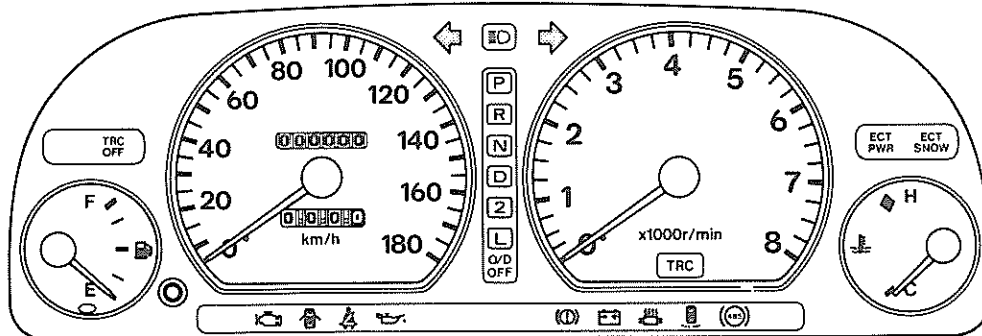
■機構説明

1. アナログメーター

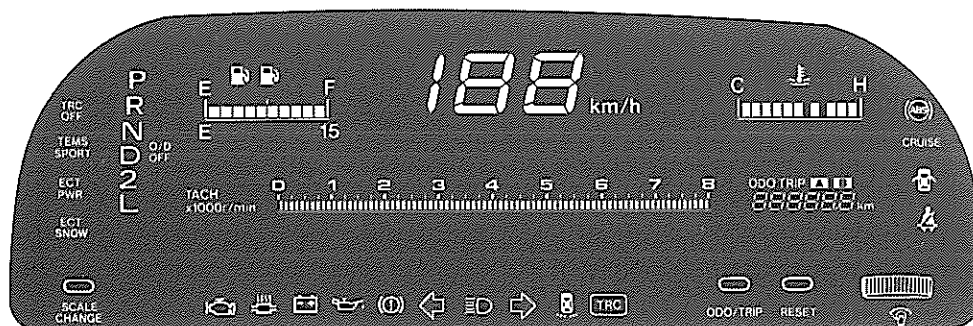
- ECT SNOWモードの追加に伴い、ECT SNOWインジケータを追加しました。
- ABSウォーニングランプの意匠を変更しました。

2. スペースビジョンメーター

- ECT SNOWモードの追加に伴い、ECT SNOWインジケータを追加し、TRC OFF、TEMS SPORT、ECT PWRの各インジケータの位置を変更しました。
- A/Tシフトポジションインジケータランプの“N”の文字色を従来から青に変更し、“P”、“D”、“2”、“L”と同色としました。
- ABSウォーニングランプの意匠を変更しました。



アナログメーター



スペースビジョンメーター

XJ1264

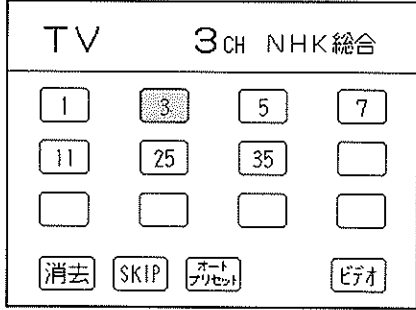
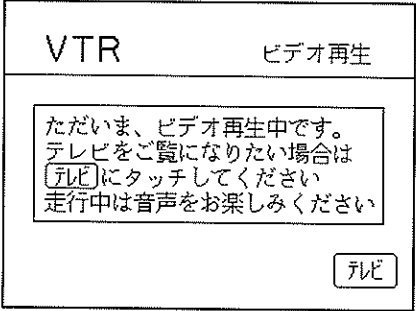
▶構造と作動

【1】表示機能と操作

(1) TVモード

TV放送画面、VTR再生画面の表示条件からシフトポジション位置（“N” または “P” ）を削除し、停車（車速 0 km/h 以下）およびパーキングブレーキペダルを踏むの2条件としました。

(1) TV放送、VTR再生

表示内容	<p>TV放送</p> <ul style="list-style-type: none"> TV放送の表示は、イグニッションスイッチがACCまたはONの状態、次の条件を満たしている場合に表示することができます。 ①停車（車速 1 km/h以下）。 ②パーキングブレーキペダルを踏む <ul style="list-style-type: none"> 上記の条件をすべて満たしている場合にテーププレーヤーのTVスイッチを押すことにより表示することができます。 走行中のVTR画面（非映像画面）のテレビキーにタッチする事によって表示することができます。（ただしキーを押した後に上記の条件をすべて満たしている場合のみ） <p>注）放送局名表示はGPSナビゲーションシステム付きのみ。</p>	 <p>オーディオ画面（TV受信時）</p>
	<p>VTR再生</p> <ul style="list-style-type: none"> TV放送表示時にVTRアダプターに外部デッキのジャックを接続し、テーププレーヤーのTVスイッチを押すことにより表示することができます。（ただしTV放送表示時と同様の条件をすべて満たしている場合のみ） 外部デッキ接続時で走行中に、TV操作画面のビデオキーにタッチすることにより表示することが出来ます。（TV放送表示時と同様の条件をすべて満たしている場合のみ） 	 <p>オーディオ画面（VTR再生時）</p>

XJ1150, XJ1054



(2) 地図モード（GPSナビゲーションシステム付きのみ）

従来と同様、全国図、地名索引、地点メモリ、目的地設定、走行軌跡、補正の各機能を備えています。

以下の改良を行い、使用性を向上しました。

- ・ 旋回補正不能時、ウォーニング画面（割り込み画面）を追加。
- ・ ルート探索、再探索不能時、ウォーニング画面（割り込み画面）を追加。
- ・ ルート探索中断機能の追加。
- ・ 有料道路手前での音声案内追加。
- ・ ルートはずれ時の音声案内廃止。

(1) 目的地設定

目的地までの距離が近くルート探索、ルート再探索ができない場合のウォーニング画面を追加しました。

また、新たにルート探索中断機能を設け、ルート探索中でもメニュー画面に戻り、**目的地設定** キーにタッチすることによりルート探索を中断し、目的地、経由地、有料道路を新たに設定し直すことができます。

ルート案内中、自車が案内ルートからはずれた場合の音声案内を廃止しました。

① ルート設定

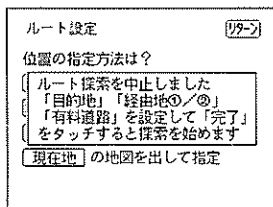
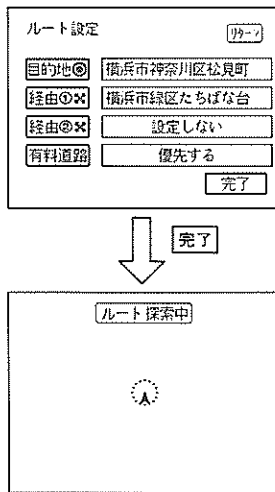
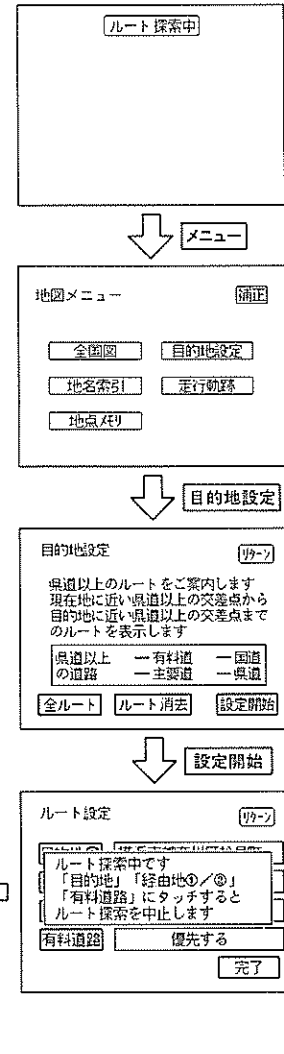
<p>・目的地設定、経由地及び有料道路優先／非優先の設定を行います。</p> <p>ルート設定方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図は目的地を現在位置から、経由地①を地点メモリから設定し、経由地②は設定なし、有料道路優先の場合を示します。 ・地図メニュー表示画面の目的地設定 キーにタッチしてルート情報メニュー画面を表示させます。 ・設定開始 キーにタッチしてルート設定画面を表示させます。 <p>①目的地の設定を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的地 キーにタッチして目的地設定方法選択画面を表示させます。 ・現在地 キーにタッチして詳細図を表示させます。 ・△マークで⊕マークを目的地に設定したい位置に合わせて地点セット キーをタッチします。 ・目的地の住所が表示され、はい にタッチすると目的地がセットされ、ルート設定画面の目的地欄に目的地の住所（例：横浜市神奈川区松見町）が表示されます。 	
表 示 内 容	

表
示
内
容

⑤ルート設定の内容変更

ルート探索中、ルート探索を中断し、目的地、経由地、有料道路の設定内容を変更することができます。

- パネルスイッチの「メニュー」を押し、地図メニュー画面を表示させます。
- 地図メニュー画面の「目的地設定」キーにタッチし、ルート情報メニュー画面を表示させます。
- 「設定開始」キーにタッチし、ルート設定画面を表示させます。
この時、「ルート探索中」のウォーニングを6秒間表示します。
- 目的地、経由①、②、有料道路のうち、内容を変更したい項目のキーにタッチし、設定内容を変更します。
- 目的地、経由①、②、有料道路のキーにタッチした時点でルート探索を中断します。
この時、「ルート探索中止」のウォーニングを6秒間表示します。
- 「完了」キーにタッチすることにより、新しい設定でのルート探索に入ります。



② ルート再探索

・ルート案内画面で現在地が案内ルートからはずれて1 km以上走行した場合、**再探索** キーを操作することにより案内ルートの再探索を行い新たな案内ルートを表示します。

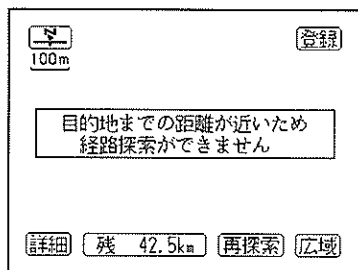
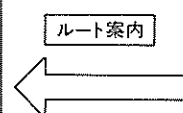
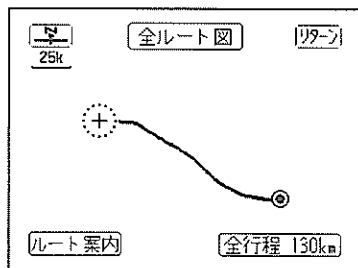
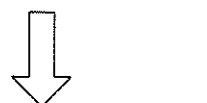
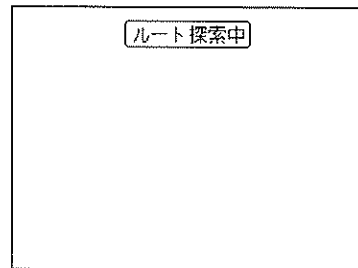
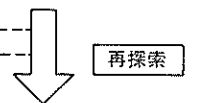
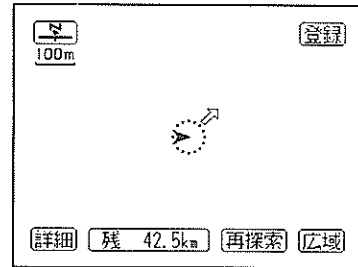
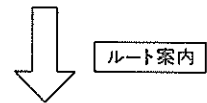
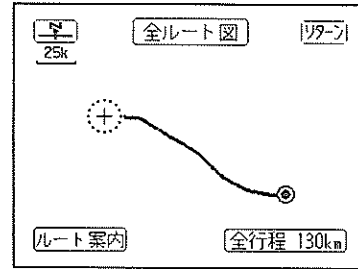
ルート再探索方法

- ・ルート案内画面でルートからはずれて1 km以上走行した場合、画面に**再探索** キーを表示します。
- ・**再探索** キーにタッチすると新たな案内ルートを探索し探索終了後全ルートおよび全行程を表示します。
- ・**ルート案内** キーにタッチすると、現在地からの新たな案内ルートによるルート案内画面を表示します。

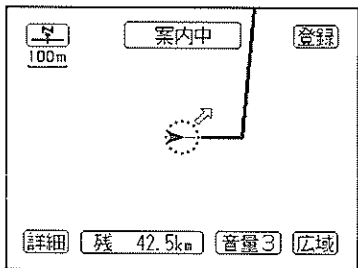
注) ルート再探索を開始した時点で、現在地に最も県道以上の道路の交差点が案内ルートの開始点となります。

- ・目的地が近く、ルート探索ができない場合はウォーニング画面を6秒間表示します。

表
示
内
容



目的地までの距離が近いので再探索できない場合。

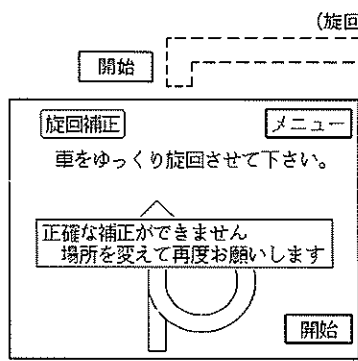
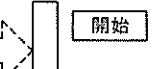
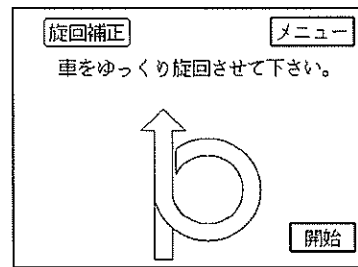
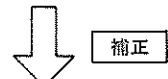
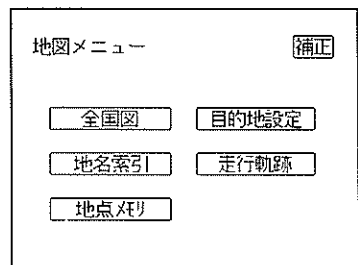


(2) 補正

磁界の乱れにより、旋回補正が出来ない場合のウォーニング画面を追加しました。

表
示
内
容

- 車体の着磁により、地図上の現在地と実際の車両位置にずれが生じたときに旋回補正を行います。
- 旋回画面表示方法
- 地図メニュー画面の「補正」キーにタッチして、旋回補正画面を表示させます。
 - 「開始」キーにタッチすることにより、旋回補正を開始します。
 - 車を旋回させて補正を行います。
 - 磁界の乱れにより補正が出来ない場合、その旨のメッセージ「正確な補正が出来ません 場所を変えて再度お願いします」を6秒間表示します。

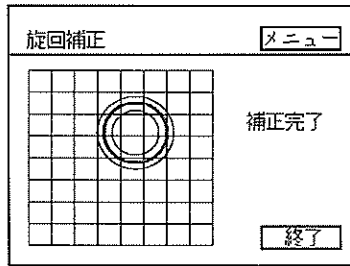


(旋回補正やり直し)

(磁界の乱れにより補正できない場合)

(補正完了した場合)

旋回補正完了



(3) 取り扱い上の注意

① 地図上のデータベースについて

このトヨタエレクトロマルチビジョンに使用している地図は、財団法人日本デジタル道路地図協会作成の「1991年度版全国デジタル道路地図データベース」と株式会社ジェ・エー・エフ出版社の地図情報に基づいて、松下通信工業株式会社と株式会社ジェ・エー・エフ出版社が1992年3月現在までの情報を網羅し、製作したものです。

「地図」の情報内容についてのお問い合わせは、株式会社ジェ・エー・エフ出版社 地図編集部までご一報ください。

TEL 03-3455-6515 (大代表)

いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。

この地図の作成にあたっては、建設省国土地理院発行の5万分の1地形図および2.5万分の1地形図を使用しました。
(測量法第30条に基づく成果使用承認 平3総使, 第55号)

この地図の作成にあたっては、国土情報整備事業の一貫として建設省国土地理院において作成された、国土数値情報を使用しました。

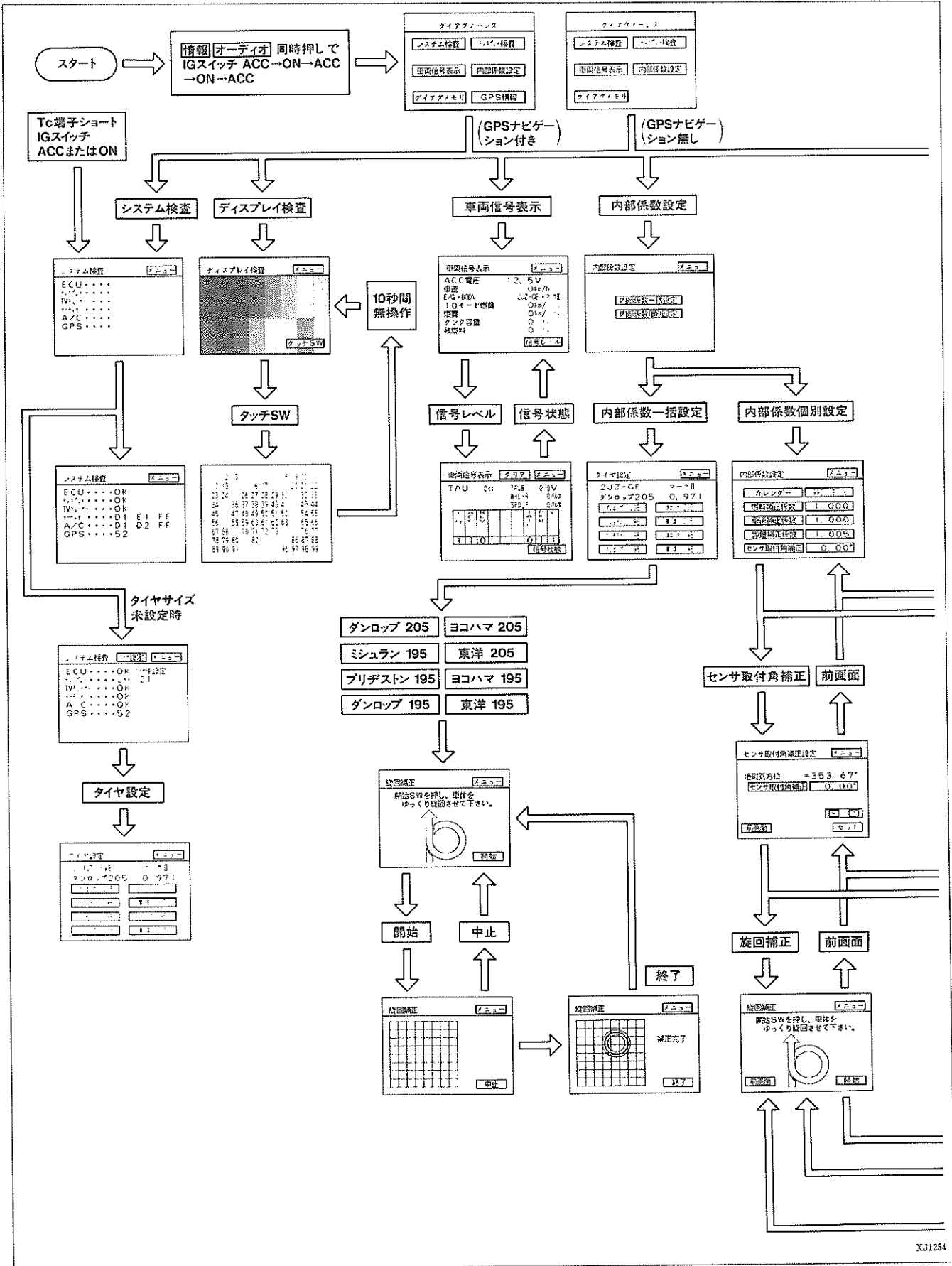
この地図の作成にあたっては、財団法人日本デジタル道路地図協会の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。(測量法第30条に基づく成果使用承認90-060)

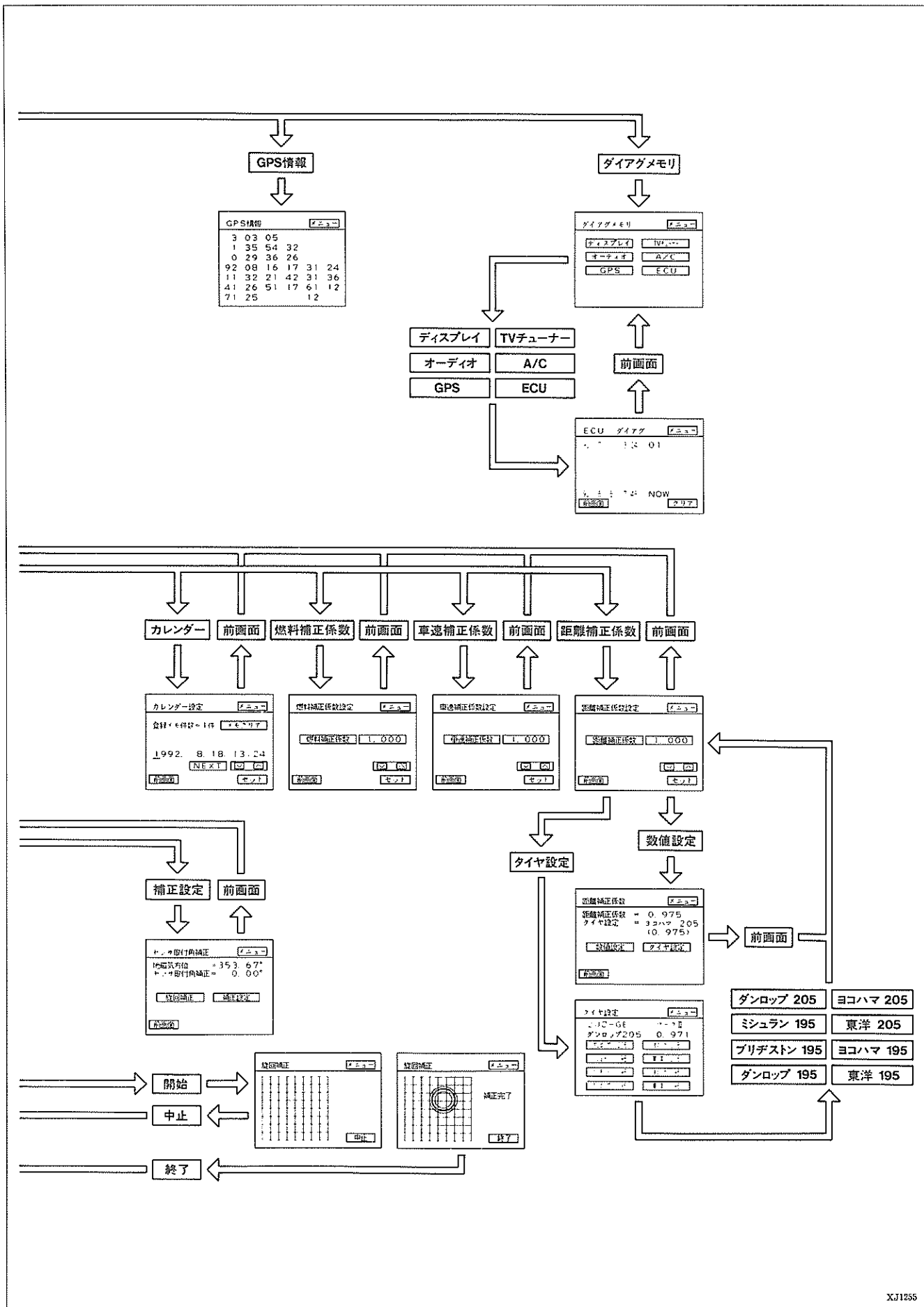
C 1992 財団法人日本デジタル道路地図協会

C 1992 松下通信工業(株) & (株) ジェ・エー・エフ出版社

【3】 サービス機能

(1) ダイアグノーシスモード



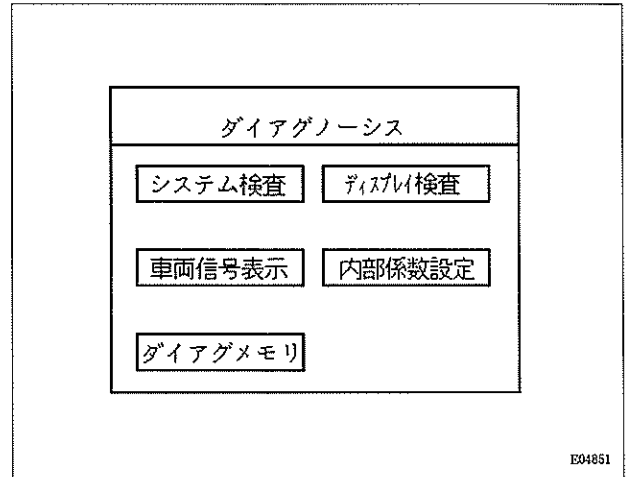


XJ1255

(1) ダイアグノーシス起動

従来と同様、**情報**、**オーディオ** キーの同時押し+イグニッションスイッチのON→ACC→ON→ACCによりダイアグノーシスモードに移行します。

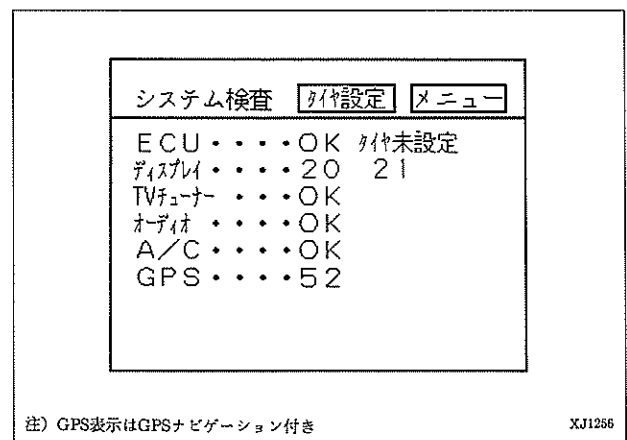
また、Tc端子を短絡することによって、システム検査後に起動できます。



E04851

(2) システム検査 (システムダイアグノーシス)

システム構成部品の見直しにより診断項目を変更しました。



注) GPS表示はGPSナビゲーション付き

XJ1256

マルチディスプレイコンピューター (親ECU)

診断項目	診断内容	コードNo.
メインCPU RAM異常	メインCPUのRAMリードライトチェックエラー	10
メインCPU ROM異常	メインCPUのROMサムチェックエラー	11
サブCPU 1 暴走	メインCPUの監視でサブCPU 1 が暴走した	12
サブCPU 2 暴走	メインCPUの監視でサブCPU 2 が暴走した	13
サブCPU 1 RAM異常	サブCPU 1 のRAMリードライトチェックエラー	14
サブCPU 1 ROM異常	サブCPU 1 のROMサムチェックエラー	15
サブCPU 2 RAM異常	サブCPU 2 のRAMリードライトチェックエラー	16
サブCPU 2 ROM異常	サブCPU 2 のROMサムチェックエラー	17
サブCPU 1 A/D異常	サブCPU 1 のA/Dコンバーターが異常	18
サブCPU 2 A/D異常	サブCPU 2 のA/Dコンバーターが異常	19
リアルタイムロック異常	リアルタイムロックが正常にカウントアップしていない	1A
ARC-NET異常	ARC-NET通信異常またはCD-ROM通信異常	1B
ディスプレイ-ECU接続異常	マルチディスプレイコンピューターとディスプレイのナビゲーションの有無設定不一致	1C
サブCPU 2 DRAM異常	サブCPU 2 のDRAMアクセス異常	1D
サブCPU 2 バックアップ異常	サブCPU 2 のSRAM電源異常	1E
サブCPU 2 タッチパネル通信異常	タッチパネル通信異常	1F

マルチディスプレイセルフダイアグノーシス

診断項目	診断内容	コードNo.
通信異常 1	マルチディスプレイコンピューターの要求に対してディスプレイからの応答がない	D0
通信異常 2	受信異常	D1
ROM異常	ディスプレイROMチェック異常	11
RAM異常	ディスプレイRAMチェック異常	12
LED異常	ディスプレイLED断線異常	14
ディスプレイパネル異常	ディスプレイパネル異常	22
バックライト異常	ディスプレイバックライト異常	23
過電流保護回路動作	過電流保護回路の動作	03
パネル温度異常	ディスプレイパネル温度異常	02
YS信号異常	YS信号異常	01

CD-ROMプレーヤーセルフダイアグノーシス

診断項目	診断内容	コードNo.
CD-ROM通信エラー	マルチディスプレイコンピューターの要求に対してCD-ROMが応答しない	50
プレーヤーサーボエラー	プレーヤーサーボ系（フォーカス/CLV）エラー発生	51
読み出しエラー	Qコード読み出し不能エラー発生	52
メカニズムロックエラー	メカニズムロック発生	53
トラックアクセスエラー	トラックアクセスエラー発生	54
通信エラー	ユニット内部CPU間のシリアル通信エラー発生	55
LSIエラー	LSIエラー発生	56
伝送エラー	マルチディスプレイコンピューターへのデータ伝送エラー発生	57
データヘッダーラッチエラー	20ms以内にデータヘッダーがラッチできないエラー発生	58
LSI CRCエラー	リードデータにCRCエラー発生	59
CRAFT未接続時	CD-ROMから見て、CRAFTラインが未接続	5A

*センサー類（GPSナビゲーションシステム付き）

診断項目	診断内容	コードNo.	
光ファイバージャイロ	通信異常	光ファイバージャイロから要求したデータが送られてこない	30
	通信異常 2	光ファイバージャイロからのデータ受信エラー	31
	通信異常 3	光ファイバージャイロから送信される通信監視でエラー発生	32
	状態遷移異常	光ファイバージャイロの状態が一定時間初期化中、処理中のまま変化しない	33
	電源異常	光ファイバージャイロの電源異常	34
	故障	光ファイバージャイロ自体の異常	35
マグネチックフィールドセンサー異常	マグネチックフィールドセンサーの出力電圧が設定範囲外または、コネクタ、ハーネスの断線またはショート	36	
SPD異常	SPD異常またはコネクタ、ハーネスの断線またはショート	37	
FRO異常	FRO異常またはコネクタ、ハーネスの断線またはショート	38	

* ECUの項目で表示されます。

CHIP-BUS (子ECU共通)

診断項目	診断内容	コードNo.
子ECU未接続	子ECUが無応答	D0
子ECU通信異常	子ECUとの通信でFCC, フレーミングなどの異常発生	D1
BREQ未接続	バスリクエスト線の断線, コネクターはずれ	D2
コマンド未発行	ダイアグ通信要求に対してダイアグデータ無応答	FF

オーディオアンプリファイヤー (ECU)

診断項目	診断内容	コードNo.
テーププレーヤー正常	テーププレーヤーメカ正常, ローカル通信正常	10
テーププレーヤーメカ異常	テーププレーヤーメカ異常, ローカル通信正常	11
テーププレーヤー送信異常	テーププレーヤーメカ正常, ローカル通信送信異常	12
テーププレーヤー送信異常	テーププレーヤーメカ異常, ローカル通信送信異常	13
テーププレーヤー通信異常	カセットプレーヤーメカ不明, ローカル通信異常	14
CDオートチェンジャー正常	CDオートチェンジャーメカ正常, ローカル通信正常	20
CDオートチェンジャーメカ異常	CDオートチェンジャーメカ異常, ローカル通信正常	21
CDオートチェンジャー送信異常	CDオートチェンジャーメカ正常, ローカル通信送信異常	22
CDオートチェンジャー送信異常	CDオートチェンジャーメカ異常, ローカル通信送信異常	23
CDオートチェンジャー通信異常	CDオートチェンジャーメカ不明, ローカル通信異常	24
DSPユニット正常	DSPメカ正常, ローカル通信正常	30
DSPユニット異常	DSPユニット異常, ローカル通信正常	31
DSP送信異常	DSPユニット正常, ローカル通信送信異常	32
DSP送信異常	DSPユニット異常, ローカル通信送信異常	33
DSP通信異常	DSPユニット不明, ローカル通信異常	34

エアコンコンピューター

診断項目	診断内容	コードNo.
内気センサー異常	内気センサーが断線またはショート	11
外気センサー異常	外気センサーが断線またはショート	12
エバポレーター後センサー異常	エバポレーター後センサーが断線またはショート	13
水温センサー異常	水温センサーが断線またはショート	14
日射センサー異常	日射センサーが断線またはショート	21
コンプレッサー異常	コンプレッサーが作動異常	22
冷媒圧力異常	冷媒圧力が異常	23
A/Mポテンシヨ異常	A/Mポテンシヨが断線またはショート	31
MODEポテンシヨ異常	MODEポテンシヨが断線またはショート	33
A/Mポテンシヨ異常	A/Mポテンシヨが作動不良	41
MODEポテンシヨ異常	MODEポテンシヨが作動不良	43

TVチューナー

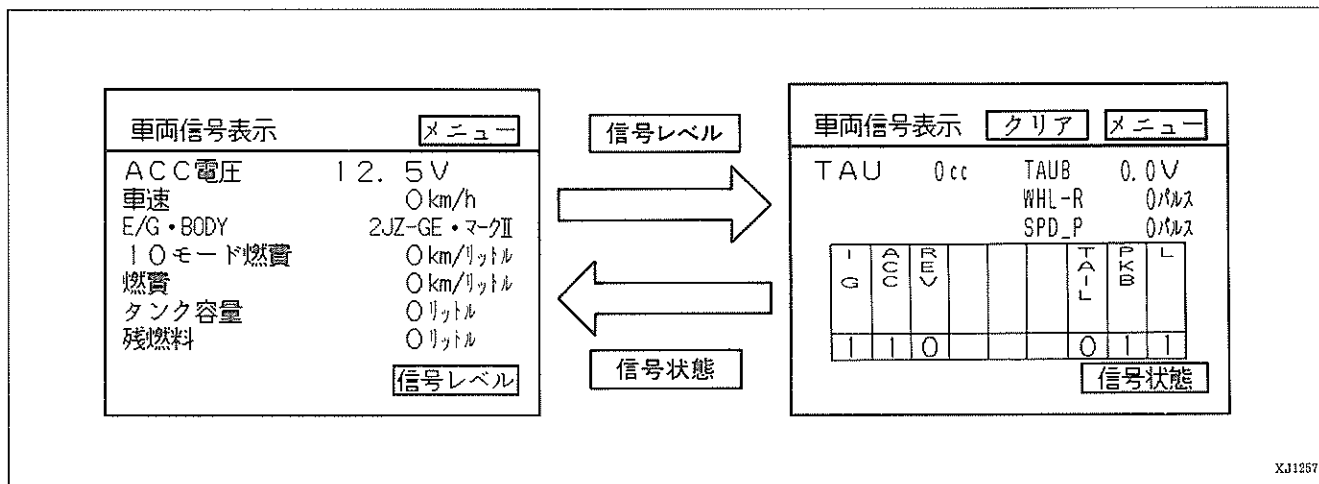
診断項目	診断内容	コードNo.
CPU異常	RAMリード/ライト, ROMチェックサム, I/Oポート異常	11
主電源異常	電源ラインのON/OFF異常	12
通信異常	バスリクエスト要求に対応する応答が2秒以上がない	14

ナビゲーションレシーバーセルフダイアグノーシス (GPSナビゲーションシステム付きのみ)

診断項目	診断内容	コードNo.
メインCPU ROM異常	メインCPU ROM読み取り異常	11
メインCPU RAM異常	メインCPU RAM書き込み, 読み取り異常	12
RTC異常	RTC RAM書き込み, 読み取り異常	13
サブCPU ROM異常	サブCPU ROM読み取り異常	21
サブCPU RAM異常	サブCPU RAM書き込み, 読み取り異常	22
高周波部異常	アンテナ系統の高周波部出力が異常	32
TCXO異常	TCXO出力が異常	41
アンテナ異常	アンテナが未接続または断線	52

(3) 車両信号表示

システム構成部品の見直しにより、表示内容を変更しました。



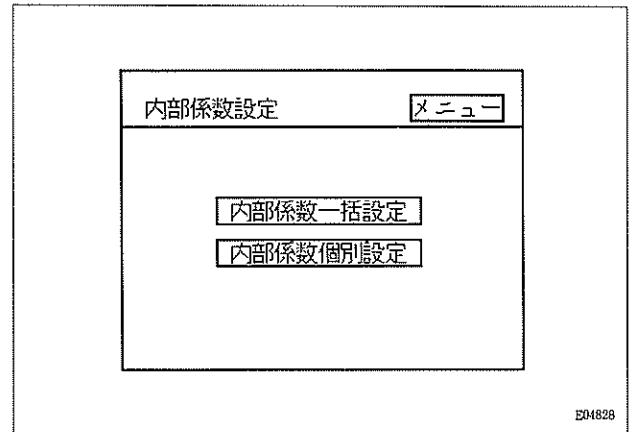
XJ1257

表示内容

ACC電圧	ACC端子電圧を表示する。
車速	SPDのパルス信号により車速を算出して表示する。
E/G・BODY	車両コネクター端子によって自動判定したエンジン型式・ボデー形状を表示する。
10モード燃費	自動判定によって識別したエンジン・ボデーによって決まる10モード燃費を表示する。
燃費	現在の航続可能距離演算に使用している燃費値を表示する。
タンク容量	自動判定によって識別したエンジン・ボデーによって決まる燃料満タン時のタンク容量を表示する。
残燃料	TAU（燃料噴射信号）からの信号により、残燃料を表示する。
TAU	TAU（燃料噴射信号）パルスをカウントして表示する。（1パルス＝1CC）
TAUB	インジェクター駆動電圧を表示する。
WHL-R	ホイールスピードセンサーのパルス信号をカウントして表示する。
SPD-P	スピードセンサーのパルス信号をカウントして表示する。
IG	イグニッションスイッチ ONで1，ON以外で0を表示する。
ACC	イグニッションスイッチ ACCで1，ACC以外で0を表示する。
REV	シフトポジション“R”で1，“R”以外で0を表示する。
TAIL	テールランプ ONで1，OFFで0を表示する。
PKB	パーキングブレーキを踏んだ状態で0，開放時は1を表示する。
L	エンジン回転中で1，停止時は0を表示する。

(4) 調整

一部設定内容を変更しました。



設定内容

内部定数一括設定	距離補正係数	距離補正係数の設定値, タイヤメーカーの選択画面を表示する
	旋回補正	旋回補正画面を表示する
内部定数個別設定	カレンダー	カレンダー設定画面, 登録MEMO件数を表示する
	燃料補正係数	燃料補正係数設定画面を表示する
	車速補正係数	車速補正係数設定画面を表示する
	センサー取り付け角補正	センサー取り付け角補正画面, 旋回補正画面を表示する
	距離補正係数	距離補正係数設定画面, タイヤ設定画面を表示する

① 内部定数一括設定

ムーンルーフの有無設定を廃止しました。また, タイヤ設定画面のタイヤ種類を変更しました。

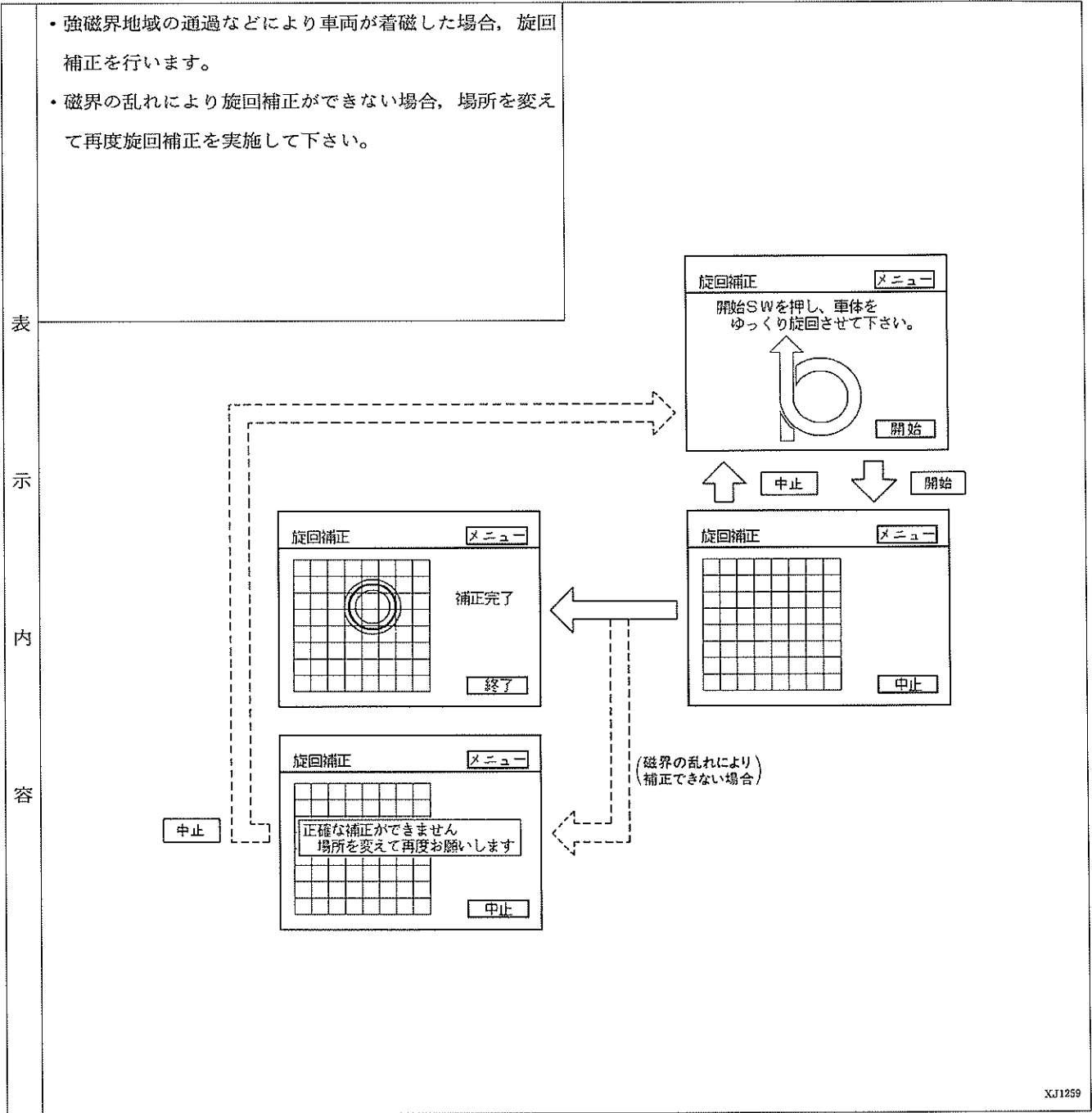
磁界の乱れによる旋回補正不能時のウォーニング画面を追加しました。

・距離補正係数

表示内容	<p>・タイヤの外径はメーカー, タイヤサイズによって異なるため, メーカーおよびタイヤサイズを指定し, 補正係数を決定します。</p>	
------	----------------------------------------------------------------------	--

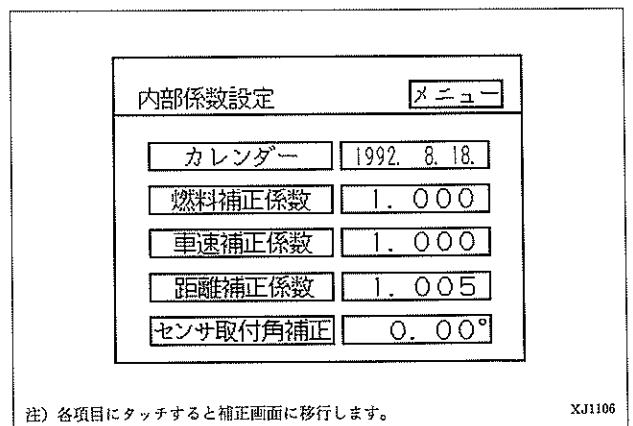
XJ1258

・旋回補正 (GPSナビゲーションシステム付きのみ)

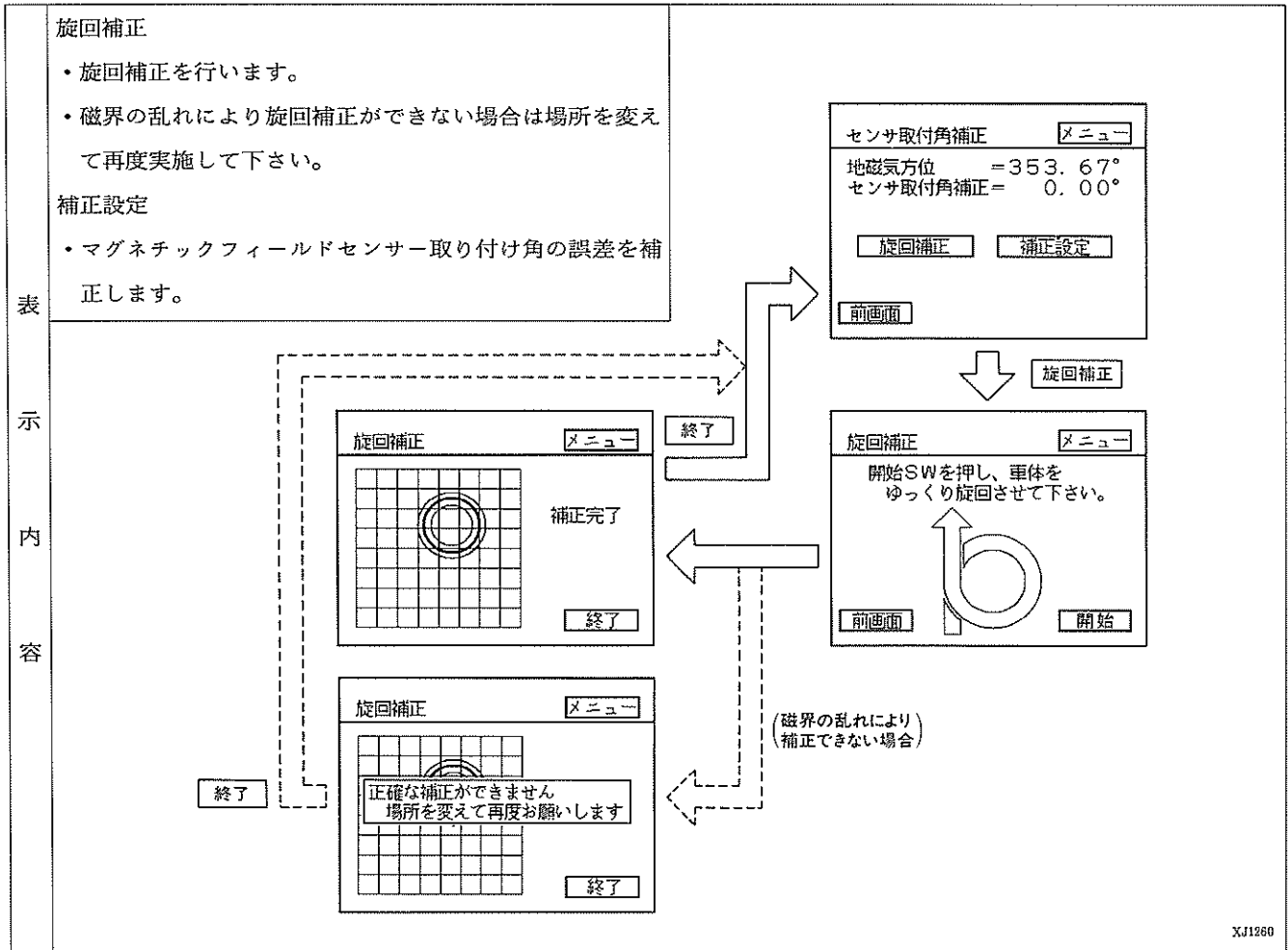


② 内部定数個別設定

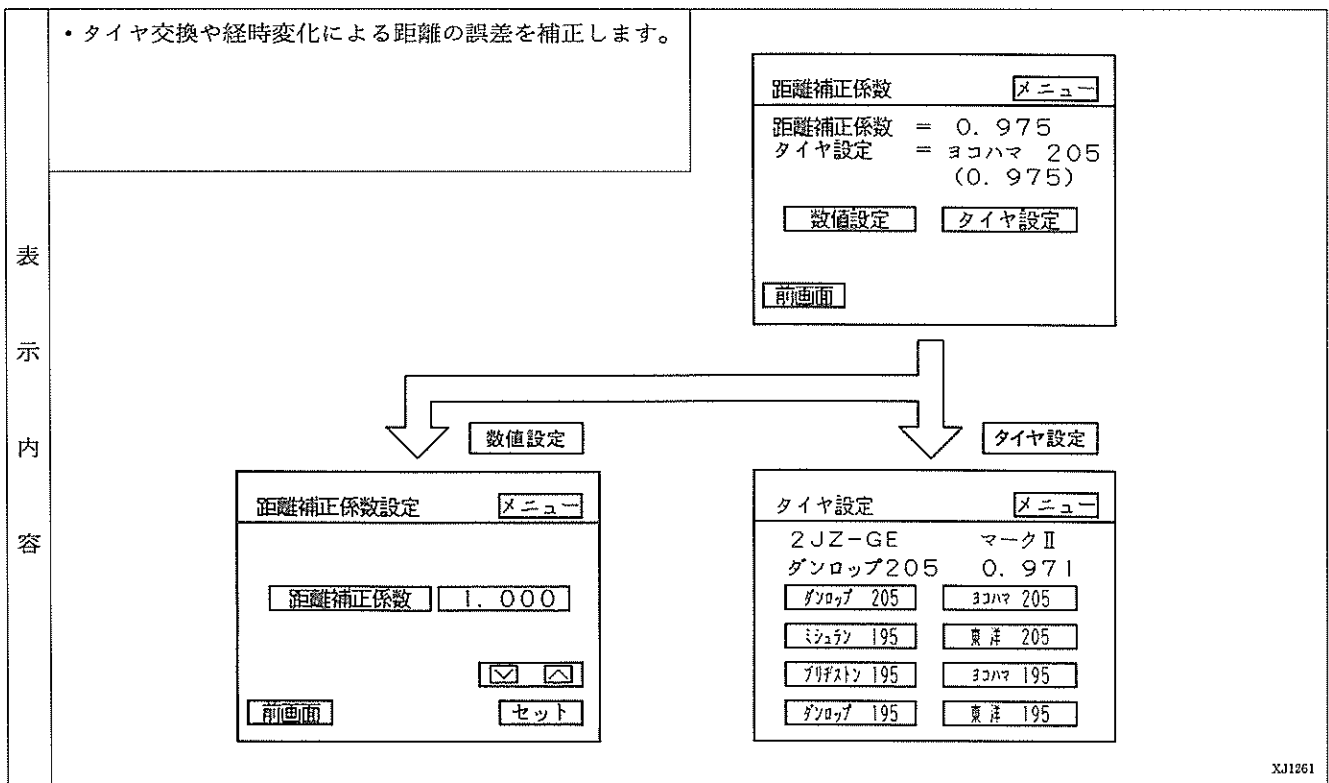
センサー取り付け角補正のムーンルーフ設定を廃止するとともに、旋回補正にウォーニング画面を追加しました。また、距離補正内のタイヤ設定でタイヤメーカーを一部変更しました。



・センサー取り付け角補正 (GPSナビゲーションシステム付きのみ)

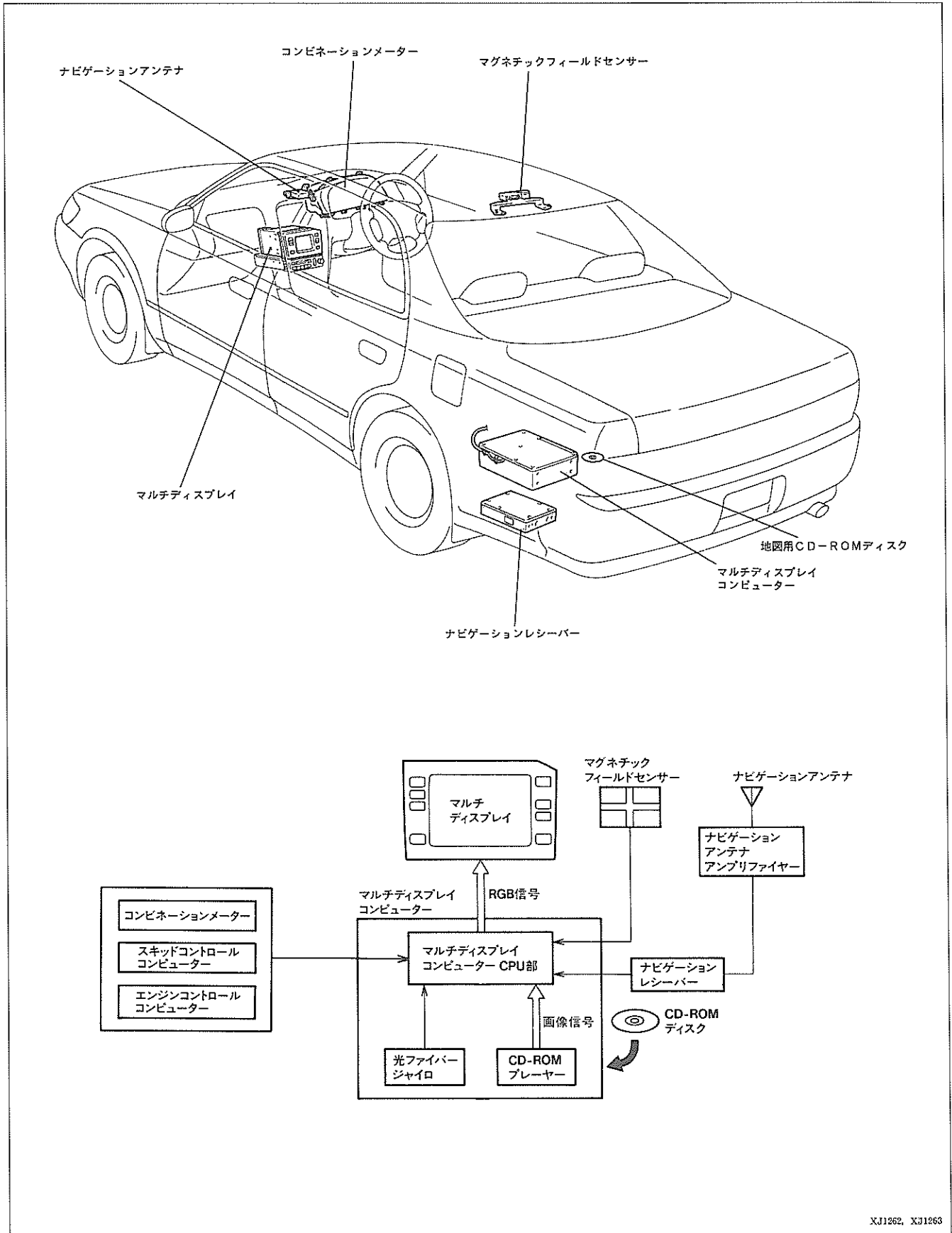


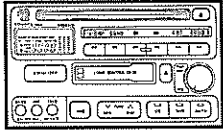

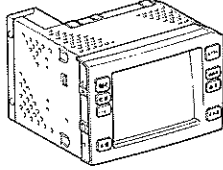
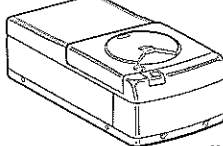
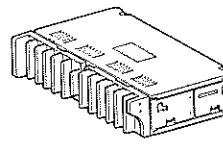
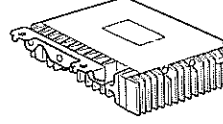
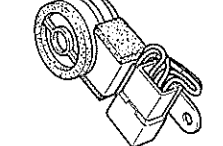
・距離補正設定

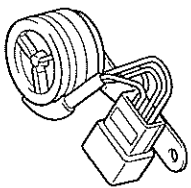
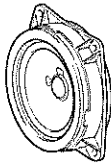
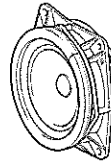
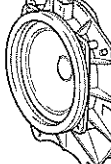
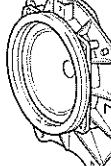
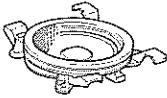
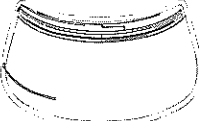


2. GPSナビゲーションシステム

●GPSナビゲーションシステムを構成する部品のパフォーマンス向上により、左フロントのホイールスピードセンサーおよびリヤのナビゲーションアンテナからの信号入力を廃止しました。



種類	機能	組み合わせ番号
チューナー	 <p>XJ1267</p> <p>2 DINサイズ カセット・CD一体型AM/FM1/2電子チューナーラジオ……PLLシンセサイザー選局。AM 6局・FM1/2各6局プリセット。自動受信感度切り替え (AM)。交通情報受信。 テープ……フルロジックコントロール。オートリバース。ドルビー-B/C。演奏頭出し。RPT。SKIP。PROG。オートメタル。 CD………スロットインローディング方式。RANDOM。SCAN。RPT。TRACK。 8/12cmディスク対応 (アダプター不要)。CDコンプレッション内蔵。 低音・高音音質コントロール。前後・左右音量バランスコントロール。ソースのダイレクトチェンジ。プログラマブルアコースティックフレイバー。機能別表示。機能別照明。 パワーアンプリファイヤー別置き。</p>	⑤
カセットヤ	 <p>XJ0900</p> <p>エレクトロマルチビジョン対応カセットプレーヤー テープ……フルロジックコントロール。オートリバース。ドルビー-B/C。演奏頭出し。 RPT。SKIP。 オートテープセクター。(各操作は、エレクトロマルチビジョンにて行う。) パワーアンプリファイヤー別置き。</p>	⑥
ディスプレイ	 <p>XJ0842</p> <p>エレクトロマルチビジョン ラジオ……AM 6局・FM1/2各6局プリセット。オートプリセット。放送局名表示。 テープ……オートリバース。ドルビー-B/C。演奏頭出し。RPT。SKIP。 CDチェンジャー……FAST。SCAN。RPT。RANDOM。DISK-SCAN。 DISK-RPT。ディスクチェンジ。 低音・中音・高音音質コントロール。DSPコントロール。</p>	⑦
CDチェンジャー	 <p>XJ0901</p> <p>CD12枚までを自動交換し再生。 8/12cmディスク対応。 FAST。TRACK。SCAN。RPT。RANDOM。DISK-SCAN。</p>	⑧
パワーアンプリファイヤー	 <p>XJ0902</p> <p>最大総合出力180W (30W×4, 60W×1)。 ラグゼージルーム内左側に取り付け。 コンピューター内蔵。DSP回路内蔵。 エレクトロマルチビジョン対応。</p>	⑨
パワーアンプリファイヤー	 <p>XJ0903</p> <p>最大総合出力180W (30W×4, 60W×1)。 助手席シート下部に取り付け。 コンピューター内蔵。 スーパーライブサウンドシステム用。</p>	⑩
ツイーター	 <p>XJ1269</p> <p>口径2.5cmセミハードドームツイーター。 左右フロントドアショルダー部に取り付け。</p>	⑪

種類	機能	組み合わせ番号
ツイーター	 <p>口径2.5cmセミハードドームツイーター。 左右フロントドアショルダー部に取り付け。</p>	⑫
フロントドアスピーカー	 <p>口径14cmシングルコーンフルレンジスピーカー。 左右フロントドアパネルに取り付け。</p>	⑬
フロントドアスピーカー	 <p>口径14cmシングルコーンフルレンジスピーカー。 左右フロントドアパネルに取り付け。</p>	⑭
リヤドアスピーカー	 <p>口径14cmシングルコーンフルレンジスピーカー。 左右リヤドアパネルに取り付け。</p>	⑮
リヤドアスピーカー	 <p>口径14cmシングルコーンフルレンジスピーカー。 左右リヤドアパネルに取り付け。</p>	⑯
ウーハー	 <p>口径20cmシングルコーンウーハー。 アッパーバックパネル中央に取り付け。</p>	⑰
アンテナ	 <p>バックウィンドウアンテナ。 メインのみ1系統。</p>	⑱
	<p>バックウィンドウアンテナ。 メイン、サブ2系統。 FMダイバーシティアンテナシステム。</p>	⑲

仕様 2

● : 標準装備 ○ : メーカーオプション

グレード 組み合わせ	GL	グロー ール		グランデ		ツ ア ラ ー S	ツ ア ラ ー V	グランデG		グランデ Four	グランデ G Four
		4S	2L	1G-FE	1JZ-GE			1JZ-GE	2JZ-GE		
①+⑬+⑱	●										
②+⑬+⑮+⑲			○	○		○				○	
③+⑬+⑮+⑲		●	●	●		●				●	
④+⑪+⑬+⑮+⑲				○	●	○	●	●		○	●
⑤+⑩+⑫+⑭+⑯+⑰+⑲					○		○	○	●		○
⑥+⑦+⑧+⑨+⑫+⑭+⑯+⑰+⑲					○			○	○		

5・5	クルーズコントロール
-----	------------

■概要

ツアラーVのメーカーオプション設定を廃止し、グランデGのみのメーカーオプションとしました。
また、クルーズコントロール制御の内容およびダイアグノーシス診断結果を一部変更しました。

■機構説明

1. クルーズコントロールコンピューター

●一部制御内容を変更しました。

▶構造と作動

【1】作動

〔1〕クルーズコントロール制御

・オートキャンセル制御を一部変更しました。

制 御 名	制 御 内 容
オートキャンセル制御	<ul style="list-style-type: none"> ・クルーズコントロールでの走行中に下記状態になった場合、記憶車速を消去して制御を解除します。 また、次にメインスイッチをONするまでパワーインジケータは点滅し、再度イグニッションスイッチをONするまでメインスイッチの投入を受け付けません。 ①モーターの増速側出力が連続通電となった時。 ②モーターが動かなかった時。 ③コントロールスイッチ入力の変圧レベル異常の時。 ・クルーズコントロールでの走行中に下記状態になった場合、記憶車速を消去して制御を解除します。 また、次にメインスイッチをONするまでパワーインジケータは点滅し、再度メインスイッチをONするまで制御禁止します。 ①モーターまたはマグネットクラッチ駆動トランジスターに過電流が流れた時。 ②マグネットクラッチ系統の断線時。 ③ポテンショ系統の断線またはショート時。 ④車速信号が入力しなかった時。 ⑤クルーズコントロール走行中、走行車速\leq記憶車速-16km/hとなった時。 ⑥コントロールスイッチ入力のアースショート時。 ・クルーズコントロールでの走行中に下記状態になった場合、記憶車速を消去して制御を解除します。 (再セット可) ①走行車速<低速リミットとなった時。 ②低電圧状態の為、モーターが動かなくなった時。 ・クルーズコントロールでの走行中に下記状態になった場合、記憶車速は消去せず制御を解除します。 (再セット可) ①ストップランプスイッチの入力線が断線した時。

〔2〕ダイアグノーシス制御

(1) システム異常箇所の診断結果表示

コードNo. 2 - 3 に一部内容を追加しました。

コード No.	診 断 結 果
2 - 3	<ul style="list-style-type: none">• 車速信号異常。• 車速低下 (走行車速 ≤ 記憶車速 - 16km/h)。

注) 登坂路などで車速が低下し、2 - 3 コードが発生した場合は、車の動力性能によるもので不具合ではない。